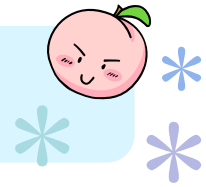


かがみびら はなし
鏡開きのお話（小）



みなさん、こんにちは。あたらしい年がはじまりました。しょうがつになると「今年もがんばろう！」という気持ちになりますね。

ところで、みなさんは、1月の行事食と聞いて何を思いうかべますか？

しょうがつ ぞうに りょうり がつなの か ななくさ がつ
正月の雑煮やおせち料理、1月7日の七草がゆ、そして1月11日は鏡開きのぜんざいなどがあります。

そのなかで、今日は鏡開きのお話をします。鏡開きとは、1年無事に終わられたことを神様に感謝しながら、年末から正月に神様へ供えた鏡もちをみんなで分け合って、今年1年の幸せと健康を願って食べます。鏡もちには、その年の年神様がやどると考えられていました。また、丸いもちの形は家庭がまるくおだやかに過ごせることを表し、もちを重ねた姿は1年をめでたく重ねるという意味もあるそうです。

かがみびら ひ かがみ ちい わ に つく
鏡開きの日には、鏡もちを小さく割り、ぞう煮やぜんざいを作って食べます。

きょう きゅうしょく に つく ことし ねん
今日の給食は、それにちなんで、ぞう煮を作りました。今年1年の幸せと健康を願いながら、味わって食べましょう。